

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	交通安全団体支援事業	コード	01-04-01-02	担当課係	市民課
事業実施期間	昭和57年度～	担当者	芳田 猛	電話	0869-67-1876
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	安全で安心して暮らせるまちづくり			
	小項目	交通安全			
	施策	交通安全意識の高揚及び交通安全教育の実施			

事業について	
目的	交通安全の運動等に関する団体等への支援を行うことにより、家庭・学校・職場・地域などで、幅広い交通安全意識の高揚を図る。
対象（誰のために）	交通安全活動関係団体
内容	補助金・助成金等の交付

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など（単位）	回数など（単位）	回数など（単位）
補助・助成金交付団体	4 団体		
交通安全運動参加者	1,192 人		
交通安全運動実施回数	23 回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,353	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,867	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	4,220	一般財源等	4,220	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0	

結果指標①	結果指標名	啓発活動参加人数	
	結果指標量	1,192	
	単位	人	
	対前年比	—	0.00%
結果指標②	結果指標名	交通安全運動実施回数	
	結果指標量	23	
	単位	回	
	対前年比	—	0.00%

事業の成果	成果指標名	交通運動参加者率	式又は説明	(啓発活動参加人数/H17.4.1現在の市内人口(41,929人))×100
	成果指標量	2.8		
	対前年比	—	0.00%	
	到達目標値	3.0	到達目標年度	平成23年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	補助・助成金交付団体の役割は大きく、活動内容等の効果的手段を検討しながら、支援する必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	1,192	結果指標量②	23
目標値 成果指標量	3.0		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	交通安全運動への参加者増を図る。	平成18年度～	市内広域的活動が実施できる。